

クローバー

第74号

～ 地域を支える、生命を守る、未来を育む医療を目指して ～



地域医療福祉連携室長就任のご挨拶

地域医療福祉連携室長兼地域医療科長 野崎 哲司

このたび、胆沢病院地域医療福祉連携室長に就任した野崎哲司です。

日頃より、地域の医療機関、介護・福祉施設、行政機関をはじめ関係各位の皆様には心より敬意を表すとともに厚く御礼申しあげます。

この奥州地域でも患者さんの高齢化や一人暮らし、さらに身寄りのない方が増加しており、医療ニーズの多様化、医療・介護人材の確保など多くの課題に直面しています。その中で、患者さんが住み慣れた地域で安心して必要な医療や介護を受け続けられるようにするためには、それぞれの機関が専門性を発揮しながら、相互に信頼し、切れ目のない連携を築いていくことがこれまで以上に重要であると考えています。

地域医療福祉連携室は、紹介・逆紹介の円滑な調整をはじめ、退院支援や在宅療養への移行支援、医療・介護・福祉に関わる相談支援など、地域と病院をつなぐ「架け橋」としての役割を担っています。私たちは、患者さんやご家族にとって最善の支援を実現するため、関係機関の皆様との対話を大切にし、迅速で丁寧な対応に努めるとともに、皆様から安心してご相談いただける連携室を目指してまいります。

また、この広報誌を通して、当院の診療体制や各診療科・部門の取り組み、地域連携に関する情報などをお伝えし、皆様の日々の業務に少しでもお役立ていただければ幸いです。情報発信に加え、皆様からのご意見やご要望にも真摯に受け止め、より円滑で質の高い連携体制の構築に取り組んでまいります。顔の見える関係づくりを大切にし、日頃の情報共有や意見交換を通じて、地域全体で患者さんを支える体制づくりに微力ながら貢献したいと考えています。

今後も、地域の医療・介護・福祉を支える皆様との連携をより一層深め、信頼される地域医療福祉連携室を目指して職員一同努めてまいります。引き続き、ご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

岩手県立胆沢病院 基本理念

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。

地域のロボット支援下 消化器外科手術の現状

外科長兼消化器外科長 成田 知宏



近年、消化器外科手術は大きな転換期を迎えています。従来の開腹手術から腹腔鏡手術へ、さらにロボット支援下手術へと変遷し、低侵襲化が急速に進んできました。ロボット支援下手術は2000年頃に本邦へ導入され、消化器外科領域では2018年の保険収載を契機に本普及が始まり、2022年以降は、大腸癌手術を中心に症例数が急速に増加しており、現在では標準的な低侵襲手術の一つとして定着しつつあります。導入当初のように一部の大都市や大学病院に限られた医療ではなく、地域においても提供が求められる時代となっています。



ガイドライン上で

推奨されるロボット支援下手術

本邦において大腸癌は癌罹患患者数の第1位であり、国民のおよそ10人に1人が罹患するとされています。大腸癌に対するロボット支援下手術は治療ガイドライン上でも推奨され、特に直腸癌に対しては強い推奨とされています。

ロボット支援下手術は、3D高精細画像、多関節鉗子、手ぶれ補正機能などを特徴とし、特に骨盤内のような狭く深い術野で、従来の腹腔鏡手術に比べ、より精緻で安定した操作が可能となります。また、術者の身体的負担が軽減される点も大きな利点です。



現在の状況と今後の展望

今後、ロボット支援下手術はさらに標準化していくものと予想されます。今回の診療報酬改定でも、一定の条件下でロボット手術や高難度消化器外科手術に対する大幅な加点が認められました。

一方で、体制整備や高額な費用の問題を考えると、手術支援ロボットをすべての病院に整備することは現実的ではなく、近い将来、手術機能の集約化は避けられない流れと考えられます。



岩手県における現状



3施設 5台所有

胆沢病院 1台所有

岩手県では、現在、手術支援ロボットが4施設で6台稼働しています。そのうち3施設5台は盛岡圏域に集中しており、それ以外の地域では当院のみが有しています。

そのため、岩手県南地域におけるロボット支援下手術の提供において、当院が果たすべき役割は非常に大きいものと感じています。



胆沢病院消化器外科の取組み

当院消化器外科では、大腸癌および胃癌を対象として、2022年にロボット支援下手術を導入しました。2024年12月には新機種へ更新し、それ以降、手術件数はさらに増加しています。本年は100件を超えるロボット支援下手術を見込んでおります。

地域における低侵襲消化器外科治療の中核を担うべく研鑽を積み、安全性を最優先に、患者さんにとって負担の少ない、質の高い外科医療を提供してまいります。

対象となる患者さんがおられましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

**患者さんにとってより負担の少ない、
質の高い外科医療を提供してまいります。**



令和7年度 紹介率・逆紹介率の状況

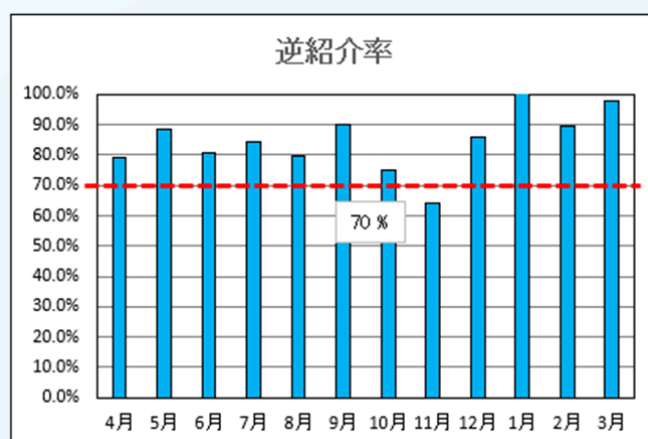
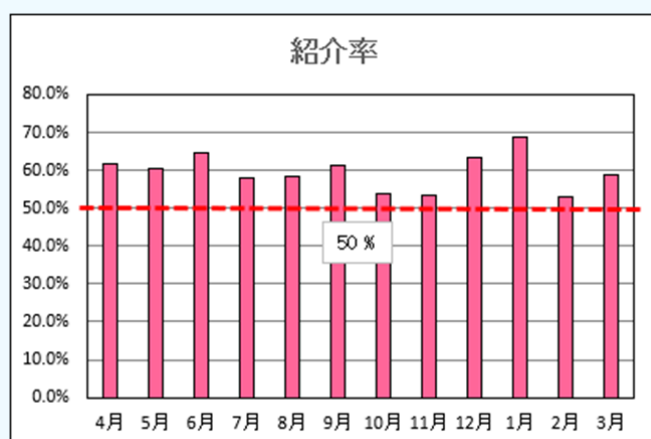
当院は、平成26年12月1日付で「地域医療支援病院」の承認を受けております。患者に身近な地域で医療を提供されることが望ましいという観点の元、地域の中核病院として各医療機関と適切な連携を図っていくよう努めております。そうした中で、紹介率、逆紹介率は、第一線の地域医療を担う、かかりつけ医を支援する一指標として用いられており、地域医療支援病院の承認要件ともなっています。

皆様にお力添えいただき、昨年度の紹介率は59.4%、逆紹介率は84.0%となり、承認要件（紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上）を満たすことができました。

今年度も引き続き皆様のご協力とご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



R7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
紹介率	61.6%	60.4%	64.6%	57.9%	58.3%	61.2%	53.9%	53.5%	63.5%	68.7%	52.9%	58.8%	59.4%
逆紹介率	79.1%	88.3%	80.9%	84.2%	79.8%	89.9%	75.1%	64.1%	86.0%	101.9%	89.6%	98.1%	84.0%



令和8年度 お盆期間中の診療体制について

下記の期間、外来診療（全科）を休診し、当番医師による救急診療体制となります。

8月13日（木）～8月16日（日）

※救急のご紹介の際は、中央処置室にご連絡をお願いします。



岩手県立胆沢病院 地域医療福祉連携室

〒023-0864

岩手県奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地

TEL 0197-24-4121

TEL 0197-48-0881（紹介センター直通）平日9時～17時

FAX 0197-24-4180（紹介センター専用）

URL <https://www.isawa-hp.com/>